



保険監督者国際機構 (IAIS)
「システム上重要なグローバルな保険会社に適用する
上乗せ資本 (HLA) 要件」の概要

一般社団法人 日本損害保険協会 国際企画部
(2015年11月作成、2017年9月更新)

HLA要件策定の経緯・予定 (参照:2015年10月IAIS公表文書等)

- グローバルな金融危機の後、金融安定理事会 (Financial Stability Board: FSB) およびG20は、システム上重要なグローバルな金融機関 (Global Systemically Important Financial Institutions: G-SIFIs) の特定や、金融システムに対するモラルハザードおよびリスクの抑制に係る枠組みの策定に向けた作業を開始した。
- その一環として、保険監督者国際機構 (International Association of Insurance Supervisors: IAIS) が2013年7月に、システム上重要なグローバルな保険会社 (Global Systemically Important Insurers: G-SIIs) に対する適用規制を公表した。適用規制の一部として、G-SIIsの経営難・破たんの確率および金融システムへの悪影響の抑制を主目的とした上乗せ資本 (Higher Loss Absorbency: HLA) 要件が掲げられている。なお、HLA要件の土台となるベーシック資本要件 (Basic Capital Requirement: BCR) は、2014年11月にG20により承認された。
- HLA要件は、コンサルテーション(※)、最終版のIAIS年次総会での採択(2015年11月)を経て、G20によって承認された(同月)。HLAは2016年より、G-SIIsからグループワイド監督者へ非公開ベースで報告される。HLA要件の適用開始時期は2022年が予定されている。

※ 2015年6月から8月にかけて実施。概要は以下参照。

<http://www.sonpo.or.jp/efforts/international/regulations/international/pdf/0011.pdf>

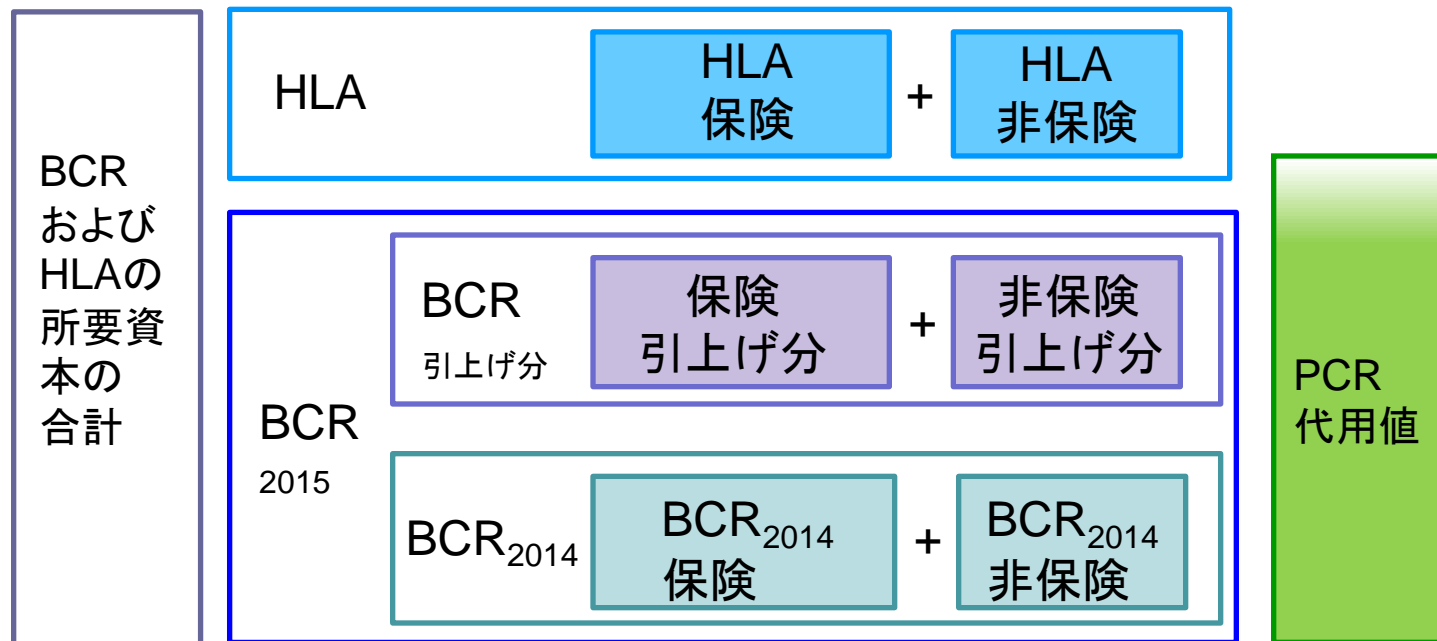
HLA要件策定の経緯・予定 (参照:2015年10月IAIS公表文書)

- HLAは、現在適用されている、G-SII選定基準および非伝統的保険・非保険 (Non-Traditional and Non-Insurance: NTNI) 事業活動の定義に基づいて開発された。IAISは、同基準・定義の見直しを進めており、それらの結果に応じ、適宜HLAの修正も検討される。
- また、IAISは、2018年までフィールドテストを通してBCRの設計と較正を観測・レビューし、適宜洗練化することを予定している。HLAとその土台の要件であるBCRは相互に連結しているため、HLAの修正もこのプロセスに沿って適宜検討される。2016年以降毎年BCRおよびHLAの所要資本額のパラメーターを見直し(資本リソースの洗練化を含む)、何らかの変更が必要とみなされる場合には、その変更を勧告するとされている。
- IAISは別途、国際的に活動する保険グループ (Internationally Active Insurance Groups: IAIGs) に対する国際保険資本基準 (Insurance Capital Standard: ICS) の開発を進めている (2020年から適用予定)。IAISは、将来的にHLAの土台をBCRからICSに置き換える方針を示しており、現時点ではこの置き換えのためのHLAの見直しは、2019年のICS開発完了後とされている。

HLA要件の概要 (参照:2015年10月IAIS公表文書)

- HLAは非保険子会社を含む、グループの全ての事業活動に適用される(BCRと同様)。
- HLA所要資本を支える資本リソースは、最も高い質である必要がある。
- HLAはBCRに上乗せして設定され、G-SIIsの国際金融システムにおけるシステム上の重要性を反映した追加資本要件という意味を持つ。2019年のHLA適用開始にあたり、G-SIIsにはBCRおよびHLAの所要資本の合計を下回らない額の資本の保有が要求される。なお、HLA所要資本は、現時点でのG-SIIs全体平均で、BCR₂₀₁₅(以下参照)所要資本額の約10%である。
- BCRおよびHLAの所要資本の合計に関して、6要素が考慮される。保険と非保険のそれぞれについて、以下の3要素が存在する(次頁も参照)。
 - BCR₂₀₁₄ 2014年に策定されたBCR文書に基づいて(G-SIIごとに)算定される、BCR所要資本額を指す。
 - BCR_{引上げ分} BCR所要資本は、フィールドテストおよび2015年に行われたHLA要件を決定するための作業に基づき再較正されている。以前のBCR所要資本額(BCR₂₀₁₄)から増加した額をBCR_{引上げ分}と呼ぶ。
 - BCR₂₀₁₅ 再較正後のBCR所要資本額を指す(BCR₂₀₁₄とBCR_{引上げ分}の合計)。

HLA要件の概要 (参照:2015年10月IAIS公表文書)



- ※ BCR₂₀₁₅と将来の国際資本基準(ICS)との間で見込まれる差額を減少させるために、BCR₂₀₁₄ 保険・非保険を増加させる。このBCR_{引上げ分}は、BCRのアルファ係数(α)を100%から133%に増加させることで達成される。BCR_{引上げ分}は、移行期間(2016年、2017年および2018年)に3段階で導入される(すなわち、それぞれ111%、122%および133%に設定)。
- ※ 規制対象の銀行事業活動に関連するBCR₂₀₁₅の非保険要素は、BCR₂₀₁₄要件であるバーゼルⅢの銀行レバレッジ比率の3%とリスクアセット(RWA)の8%のうち、大きい方とされる。
- ※ PCR(規定資本要件: Prescribed Capital Requirement)とは、これを上回っていれば、監督者が資本十分性を理由に介入しない水準を指す。PCR代用値は、各管轄区域におけるグループPCR(グループPCRの無い管轄区域では単体PCRを元に算出した数値)の平均である。比較可能性が無いPCRを機械的に平均した数字であるため、「代用値」とされている。

HLA要件の概要 (参照:2015年10月IAIS公表文書)

- HLA所要資本額の算出の特徴として、区分化手法および係数ベース手法が挙げられる。
- ✓ システミックリスクの感応度を反映するために、G-SIIsをそれぞれのG-SII選定スコアに従い、低、中、高の3区分のいずれかに振り分ける(区分化手法)(※)。
- ✓ 各区分には、G-SIIsのエクスポージャー(BCR所要資本額の算出で使用される要素に基づく)に対応する一連の係数が設定されている。係数ベース手法により、それぞれのエクスポージャーに特定の係数を掛け合わせた積の合計が導き出される。
- セクター間の一貫性比較の観点から、現時点でのG-SIIsのHLA所要資本額が、システム上重要なグローバルな銀行(Global Systemically Important Banks: G-SIBs)の最低区分に該当する銀行の所要資本金額を大幅に上回らないよう、HLAの水準が較正されている。

※ 2014年・2015年のフィールドテストの分析に基づき、低区分の係数が設定された。中区分は低区分の係数よりも50%高く、高区分は中区分の係数よりも50%高く設定されている。

※ G-SIIsの区分振り分けの方法は以下のとおり。

- 低区分 G-SII選定基準における総合スコアが0.04未満のG-SIIs(対象社が50社の場合、平均スコアは $1/50 = 0.02$)
- 中区分 G-SII選定基準における総合スコアが0.04以上0.06未満のG-SIIs
- 高区分 G-SII選定基準における総合スコアが0.06以上のG-SIIs

※ 現行G-SII選定基準に基づく、高区分に該当する保険者は存在しない。区分の決定は、G-SII選定基準が変更された際に、適宜見直しが検討される。

HLA原則 (参照:2015年10月IAIS公表文書)

- HLA要件の開発にあたって以下の10原則が示されている。
 - ① 比較可能性: HLAの結果は、管轄区域間で比較可能でなければならない。
 - ② G-SIIのリスク: HLAは、G-SIIの状態を評価する所定のリスクドライバーを反映しなければならない。
 - ③ コストの内在化: G-SIIの破綻や経営難は、金融システムおよび経済全体にコストをもたらす可能性がある。HLAにより、外部コストの一部をG-SIIsに内在させなければならない。
 - ④ 復元力: HLAは、様々な経済状況下において機能し、有効なものでなければならない。
 - ⑤ ゴーイング・コンサーン: HLAとその土台は、G-SIIsが「ゴーイング・コンサーン」であることを前提とする。
 - ⑥ 資本の質: HLAの所要資本は、「最も高い質の資本」によって満たされなければならない。
 - ⑦ 実用性: HLAの設計は、粒度と簡便性との適切なバランスをとることで、実用的かつ実務的なものとする必要がある。
 - ⑧ 整合性: HLAの構造は、HLAがカバーする必要のある保険・非保険事業体の範囲、および時間の経過に対して整合性があり、適用可能なものでなければならない。
 - ⑨ 透明性: HLAの透明性の水準は、特に最終的な結果および公表データの使用に関して、最適化されなければならない。
 - ⑩ 改善: HLAは、フィールドテストの過程でIAISが得た経験やデータを踏まえ、改善される。